

素形材カンパニー事業戦略

2018年5月25日

日立金属株式会社
執行役 素形材カンパニープレジデント

渡邊 洋

素形材カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要

2. 耐熱鋳鋼(ハーキュナイト®)事業

3. アルミ事業

4. 鋳鉄・アルミ統合No.1サプライヤーへの変革

5. 配管機器事業

6. まとめ

1. 事業概要

1-1. 事業構成

素形材で社会のニーズに貢献

鋳鉄事業



配管機器事業



耐熱鋳鋼事業



アルミ事業



乗用車

ピックアップ

2018年度
売上収益
3,450億円

商用車

建機・農機

産業機械・その他

1. 事業概要

1-1. 事業構成

素形材で社会のニーズに貢献

鋳鉄事業



配管機器事業



耐熱鋳鋼事業



アルミ事業



乗用車

ピックアップ

2018年度
売上収益
3,450億円

商用車

建機・農機

産業機械・その他

課題事業

■ 素形材カンパニー 基本方針

グローバル成長に向けたモノづくり基盤の強化で
新たな価値の創造

■ 2018中期経営計画 目標

	2016年度 実績 (1\$=108円)	2017年度 実績 (1\$=111円)	2018年度 予想 (1\$=105円)	2017年度 対比増減
売上収益	3,335億円	3,601億円	3,450億円	△151億円
調整後営業利益	175億円	118億円	170億円	+52億円
調整後営業利益率	5.2%	3.3%	4.9%	+1.6%
海外売上比率	79%	80%	79%	△1%

2018年度 最重要テーマ : 課題事業の改善

素形材カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要

2. 耐熱鋳鋼(ハーキュナイト®)事業

3. アルミ事業

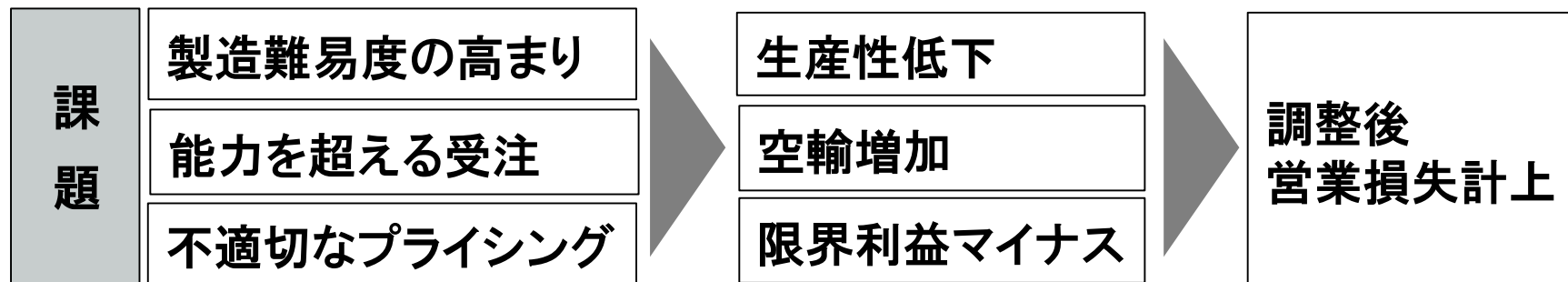
4. 鋳鉄・アルミ統合No.1サプライヤーへの変革

5. 配管機器事業

6. まとめ

2. 耐熱鋳鋼(ハーキュナイト®)事業

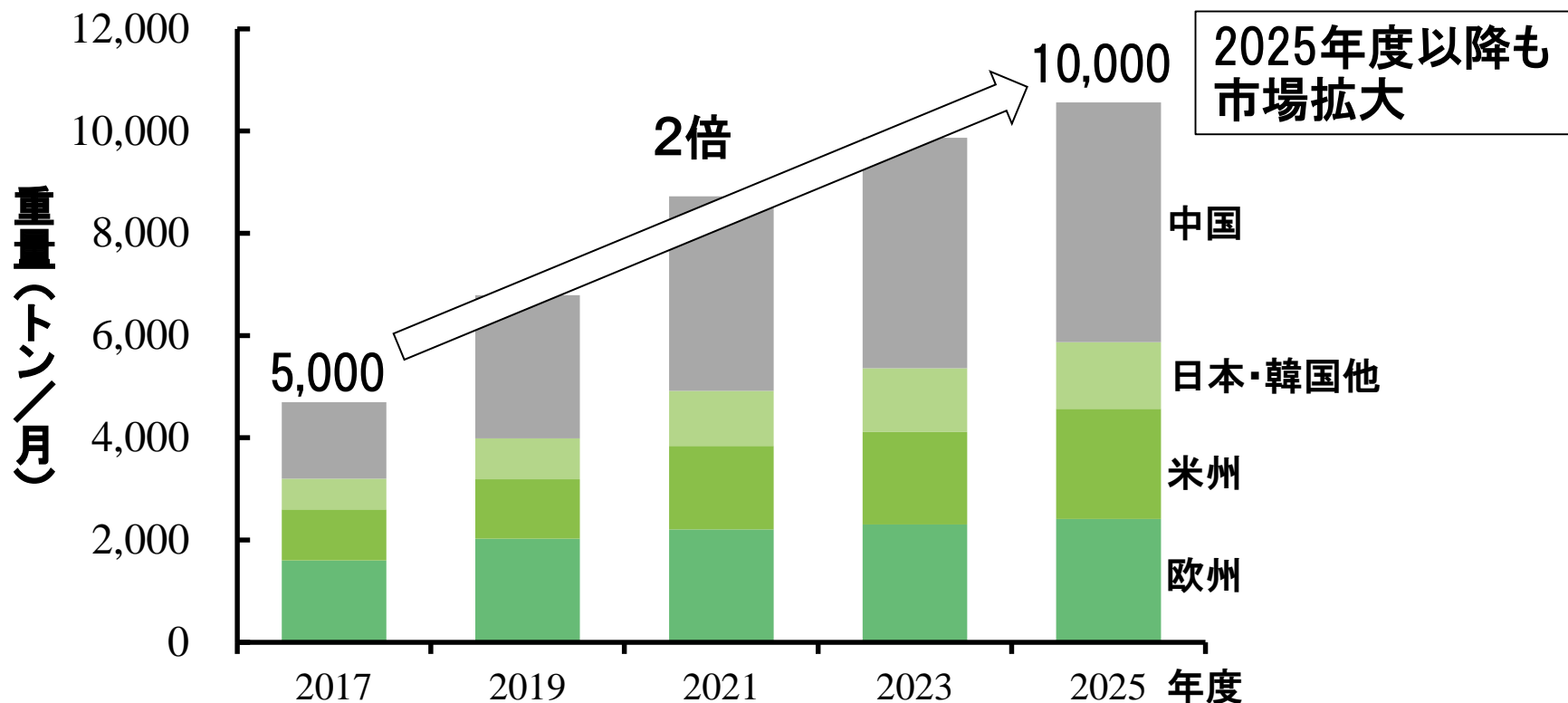
2-1. 課題と対策



対策	<ul style="list-style-type: none">■ 生産性『+15%』2016年度対比<ul style="list-style-type: none">・ 鋳造条件最適化・ 品質改善・ 加工効率改善■ 投資設備の戦力化<ul style="list-style-type: none">・ 鋳造ライン(2016年10月稼働)・ 新コンセプト機械加工ライン(2017年3月稼働)・ 米州機械加工ライン(2017年7月稼働)■ 価格是正	 <p>新コンセプト機械加工ライン</p>
----	---	--

2017年度末 黒字化達成、2018年度 利益体質化

ガソリンダウンサイジングターボの市場拡大トレンド継続




耐熱鋳鋼市場予測

各種調査資料を基に当社推定

拡大する需要に対応しつつ、利益を確保できる事業に変革

優位性	材料技術	●最適材料の提案
	製造技術	●CAEによる薄肉・軽量化設計 ●難切削材の加工技術
	生産能力	●世界有数の大量一貫製造ライン
課題	生産性 (コスト)	●生産性改善に向けた技術開発を推進

ロードマップ

2018年度	2019年度～2023年度	2024年度
利益体質化	高収益化 	安定的に収益を積み上げ
高生産性製造技術開発	増産投資検討	

素形材カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要

2. 耐熱鋳鋼(ハーキュナイト®)事業

3. アルミ事業

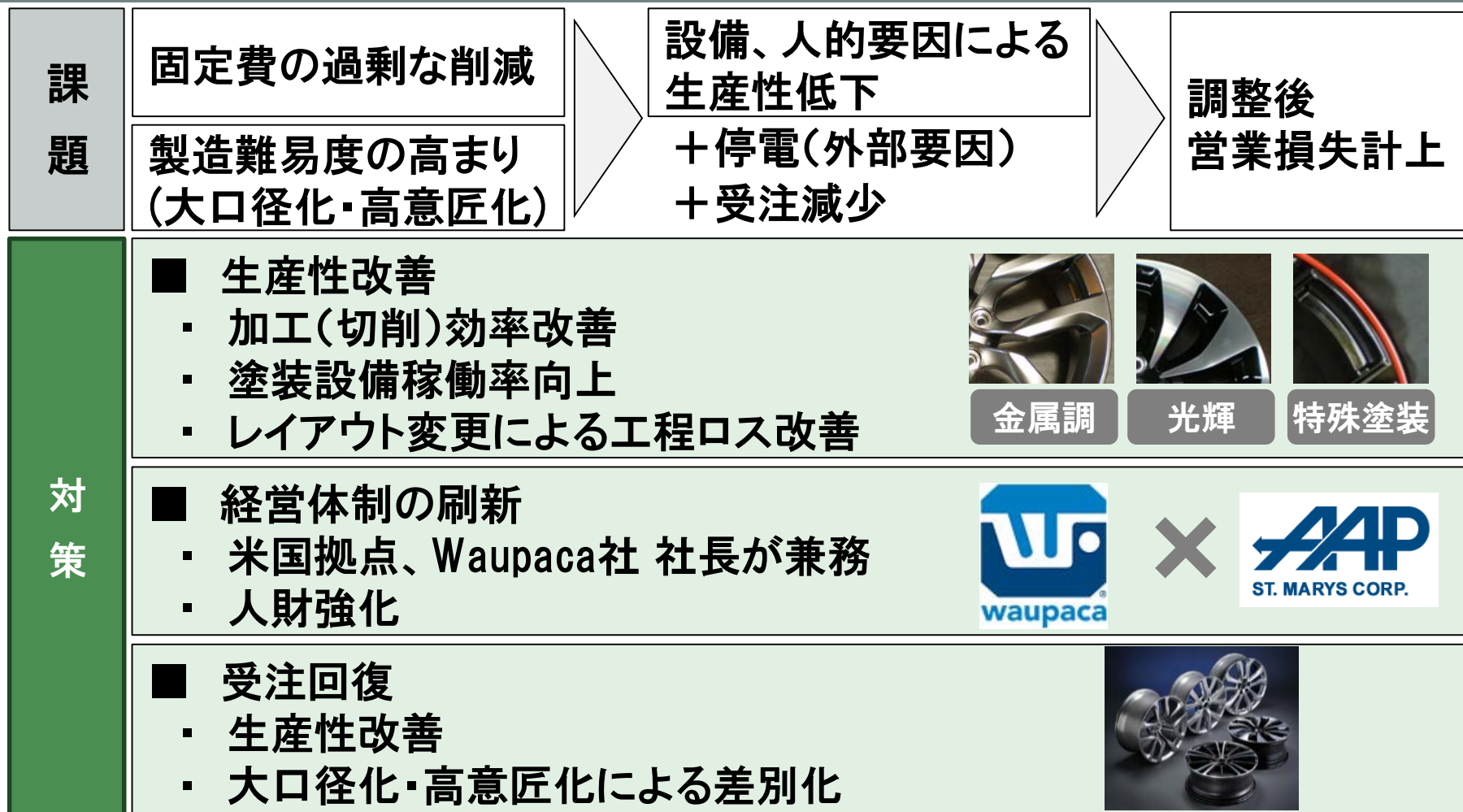
4. 鋳鉄・アルミ統合No.1サプライヤーへの変革

5. 配管機器事業

6. まとめ

3. アルミ事業

3-1. アルミホイールの課題と対策



2018年度 事業安定化推進

3-2. 市場ニーズと強み

主要製品

アルミホイール

高意匠・大口径品



アルミ機能品

EV関連部品、パワートレイン部品



市場ニーズ

軽量薄肉化

低価格化

複雑形状化

高熱伝導率

強み

✓ EVの普及によりアルミ機能品のポテンシャル急拡大

高精度CAE

軽量化、設計時間短縮

日米生産拠点

アジア地域、米州、欧州への拡販体制

多様な鋳造法

グラビティ ~ 低圧 ~ 高真空ダイカスト(HIVAC-V®)



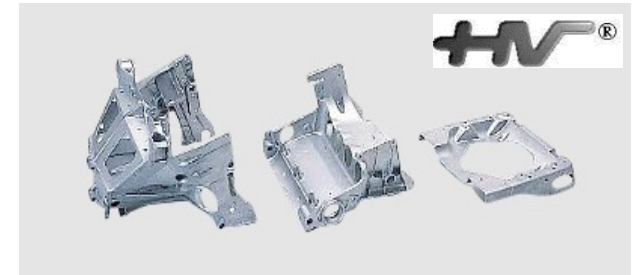
アルミ機能品

アルミ材特性を生かしてEV部品拡大

設計、材質、接合、加工技術の開発
＜GRIT連携で事業価値アップ＞

一貫ライン構築、コスト競争力強化

他カンパニーとのシナジー

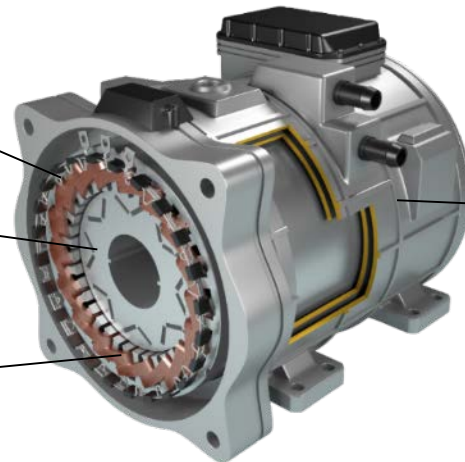


アルミダイカスト製品

アモルファス材
(特殊鋼カンパニー)

希土類磁石
(磁性材料カンパニー)

マグネットワイヤ
(電線材料カンパニー)



EV駆動モーター



アルミ製水冷ハウジング

2025年度迄に事業規模 2.5倍 (2017年度対比)

素形材カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要
2. 耐熱鋳鋼(ハーキュナイト®)事業
3. アルミ事業
- 4. 鋳鉄・アルミ統合No.1サプライヤーへの変革**
5. 配管機器事業
6. まとめ

4. 鋳鉄・アルミ統合No.1サプライヤーへの変革

4-1. 市場トレンドと戦略

既存事業

強化領域

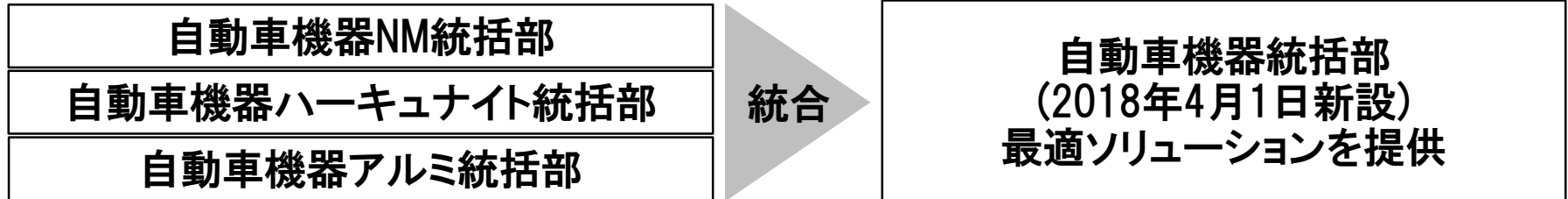
新分野

	機構	要求ニーズ	対応		当社製品
乗用車	内燃系	低燃費 低コスト	耐熱性要求への 適合力	多様な耐熱材料技術	耐熱鋳鋼
		小型ガソリン ターボ化	設計・鋳造・加工 拠点对応力	設計評価・加工強化	耐熱鋳鉄
	EV	仕様多様化	形状・大きさ・材質	重力鋳造・LPD*1 HPD*2工法に対応	バッテリーケース
		マルチ・ファン クション化	軽量化と放熱性の両立	新材質・新工法 の開発	モーター/インバーター ケース
	シャーシ (構造部材) (足回部品)	低コスト	材質×強度設計 の最適化	アルミ基複合材 新材質開発	アルミホイール
		軽量化 量的対応力	拠点对応力	日・米・韓・印	足回り部品 CFRP/複合材
非乗用車	耐荷重性 低コスト 大型対応	安定供給性	Waupaca社	ダクタイトル・Gray	
		大型鋳造	水平割鋳造技術	大型ダクタイトル	

4-2. 変化に対応する組織強化

多様化する市場ニーズに最適ソリューションを提案

最適ポートフォリオで市場の変化に対応



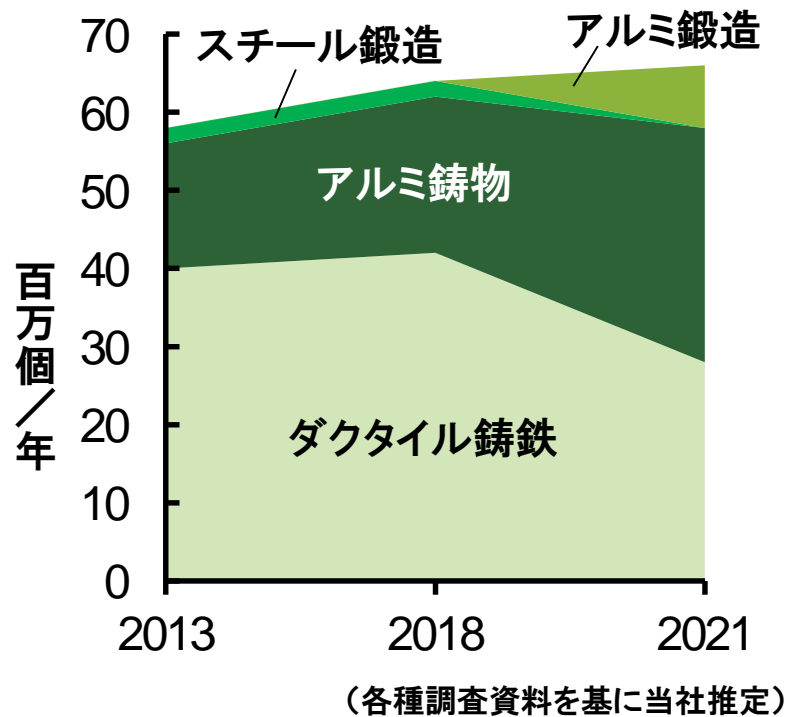
素形材事業の強み

営業力 企画提案力	コーポレート、他カンパニーと連携
多様な製品 ラインアップ	鉄、ステンレス、アルミ 樹脂、複合材
技術力	材料開発、構造設計、鋳造技術 機械加工、塗装、製品評価
生産効率	世界最大規模、生産効率を 生かした高付加価値化
開発力	グローバル技術革新センターGRIT 素材研究所



4-3. 事例：足回り部品のソリューション

北米足回り部品(ナックル)市場動向



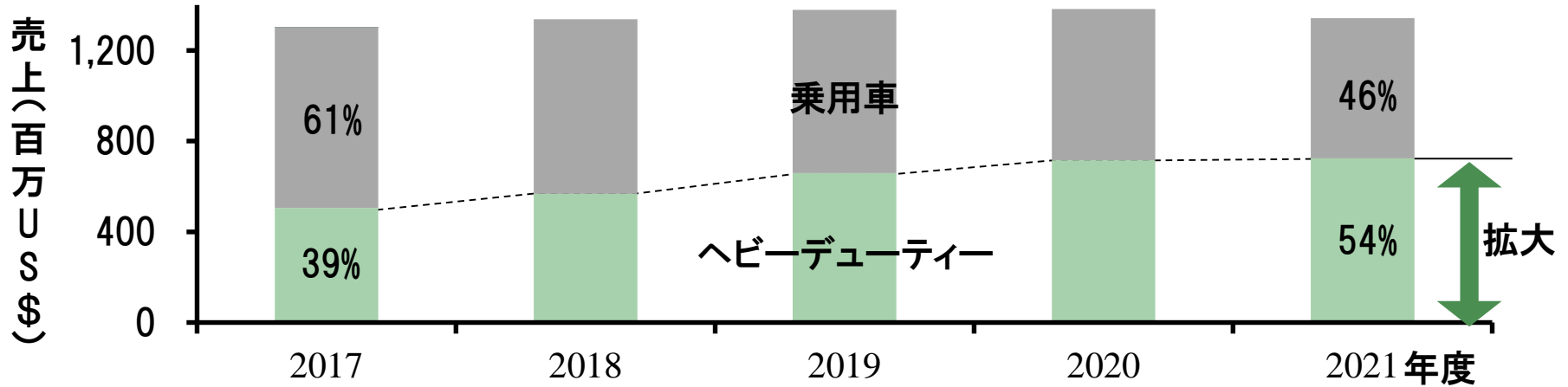
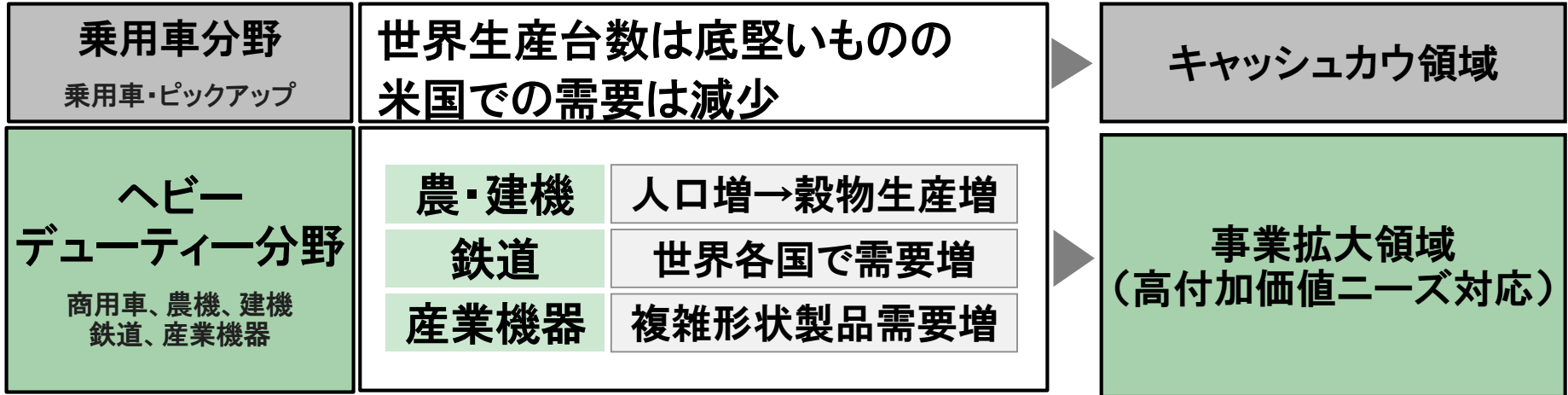
開発コスト低減、安定調達策で鋳鉄継続

燃費規制→軽量化→アルミ置換が進展

鋳鉄からアルミ、新素材までを提案

	量産中	量産中	量産検討	開発検討
材料	ダクタイル鋳鉄	高強度ダクタイル鋳鉄	アルミ鋳物	CFRP複合材
重量	100	70	50	50以下

4-4. Waupaca社 ポートフォリオ変革



Waupaca社 売上ポートフォリオ

将来構想

耐熱鋳鋼生産

アルミ、樹脂、複合材料への展開

素形材カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要
2. 耐熱鋳鋼(ハーキュナイト®)事業
3. アルミ事業
4. 鋳鉄・アルミ統合No.1サプライヤーへの変革
5. 配管機器事業
6. まとめ

5. 配管機器事業

5-1. 事業戦略

配管機器事業成長に向けた三つの柱

**既存事業
拡大**

成長事業への
経営資源投入

**モノづくり力
強化**

桑名工場への
設備投資
(2018年度稼働)

**新規事業
(ソリューション事業)
開始・強化**

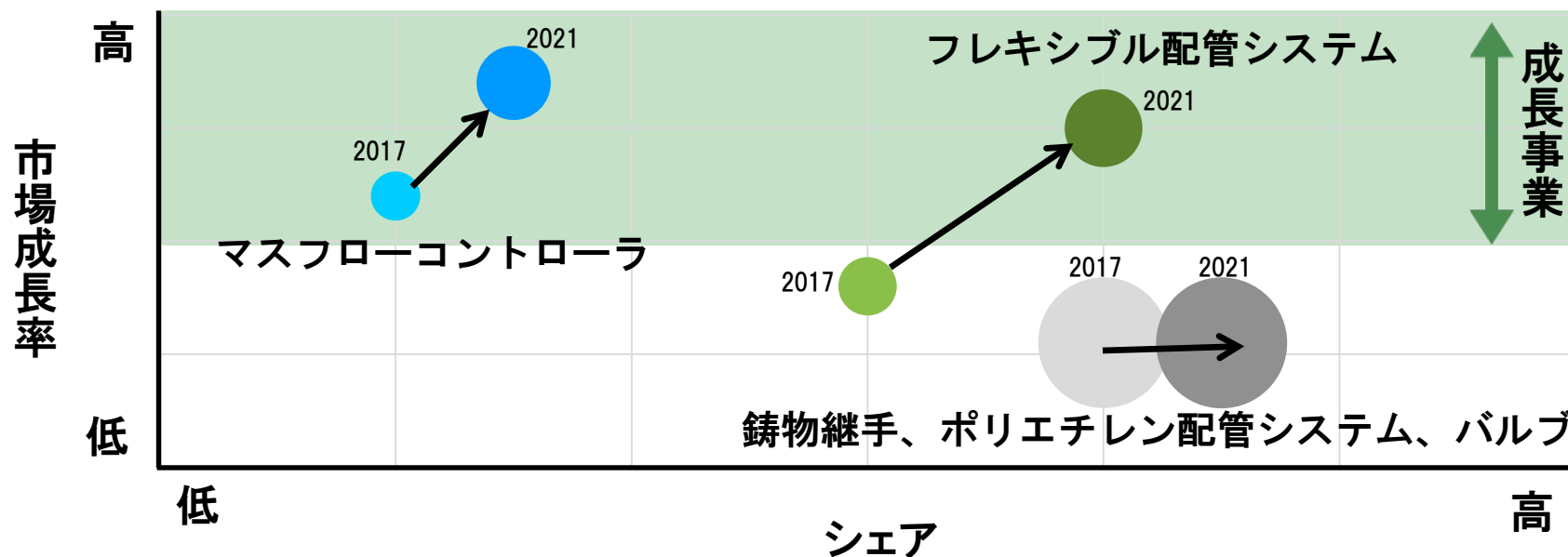
配管機器
ソリューション営業部
設立
(2018年4月)

配管機器事業 売上目標
500億円 (2017年度) ⇒ 700億円 (2021年度)

5-2. 既存事業の拡大

■ 製品ポートフォリオ

*円の大きさは売上規模
*シェアは当社推定



■ 成長事業への経営資源投入による売上増加

拡大施策

マスフローコントローラ

次世代製品の開発・拡販

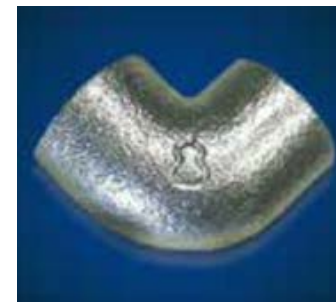
フレキシブル配管システム

高い施工性を強みに市場参入
 ・ 欧州 流通網強化による市場浸透
 ・ 中国 大手ガス会社での認定取得

配管機器事業の更なるモノづくり力の強化を目的として 桑名工場に設備投資を実施

■投資内容

- ◇ 鋳物継手の生産性改善に向けた合理化
- ◇ フレキシブル配管システムの生産能力増強
(2割能力増強)



■金額・時期

- ◇ 約30億円
- ◇ 18年度稼働を計画



5-4. ソリューション事業の開始・強化

700億円事業化に向けた施策

ニ
ー
ス

配
管
機
器
統
括
部
の
技
術
・
製
品

- 労働者不足
- 省エネ・省資源
- マネジメントシステム
- 安全・安心

施工効率向上  ガス用ステンレスフレキシブル管	劣化防止  ガス用ポリエチレンシステム	メンテナンスフリー  チルドタワー	状態監視  マスフローコントローラ	流体制御システム  鋳物継手	危険流体への適用  マレプルバルブ
	【安心・安全を担保する設計力】				

【モノづくりの多様性】

どんな流体でも、
どこでも使える
配管をめざす

【性能評価技術の多様性】

日立金属
の技術

素材の限界性能を引き出す材料技術と提案力

合金・形状技術

製造プロセス技術

分析・評価技術

日立グループ
の技術

ソリューション

インフラ

素形材カンパニー事業戦略

[目次]

1. 事業概要
2. 耐熱鋳鋼(ハーキュナイト®)事業
3. アルミ事業
4. 鋳鉄・アルミ統合No.1サプライヤーへの変革
5. 配管機器事業
6. まとめ

グローバル成長に向けたモノづくり基盤の強化で 新たな価値の創造へ挑戦

2018年度 計画

売上収益	: 3,450億円
調整後営業利益	: 170億円
調整後営業利益率	: 4.9%

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動



Materials Mag!c
日立金属